

平成27年度 上越市道徳部 活動報告

部長 中島 憲一

1 研究主題

「特別の教科道徳」を見据え、自校の課題解決に向けた着実な道徳教育の推進
＜主題設定の理由＞

学習指導要領等の一部が改正され、「考える道徳」「議論する道徳」への転換により、児童生徒の道徳性をはぐくむことを掲げ、今年度から「特別の教科道徳」の取組が可能となった。小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、検定教科書を導入しての「道徳科」完全実施が示されている。そこで、道徳部では本主題を設定し、自校の課題を踏まえ着実な道徳教育の推進を図ることとした。

2 研究の概要

- (1) 上越教育大学大学院教授早川裕隆様による道徳教育研修会
 - ・道徳の時間の課題、道徳科に至るまでの経過
 - ・道徳科の指導、目標、指導計画
 - ・道徳科の授業と評価
 - ・道徳的行為に関する体験的な学習、役割演技
- (2) 清里中学校の公開授業、研究協議会、上教大大学院早川裕隆教授によるご指導
- (3) 清里小学校の公開授業、研究協議会、上教大大学院早川裕隆教授によるご指導
- (4) 道徳教育推進に向けた情報共有、情報交換

3 研究の実際

- (1) 9月10日(木) 上越市立教育センター道徳教育研修会に参加し、研修
- (2) 10月29日(木) 清里中学校公開授業・協議会に参加し、研修
- (3) 10月30日(金) 清里小学校公開授業・協議会に参加し、研修
- (4) 11月11日(水) 道徳教育推進に向けた情報共有、情報交換

4 成果と課題

道徳部員は、各学校の道徳主任や道徳教育推進教員という責任を負っている。「特別の教科道徳」への円滑な移行は最重要課題である。その課題に沿って本年度の研究主題を設定し、研究・研修を進めてきた。

自校の実態を踏まえた移行措置の計画等に備え、研修内容の共有や疑問・悩みに対する情報交換を効果的に行うためにワールドカフェの方式によるワークショップを開催した。道徳教育研修会や清里中学校・清里小学校での授業公開研究会で学んだこと、一部改正された学習指導要領への疑問などについて、活発な情報交換が行われた。

実践は緒に就いたばかりであるが、一斉研修における情報共有や情報交換の成果がワークショップのまとめとして残っている。これらを活用しながら各学校の実情に沿って移行措置並びに道徳教育の充実が図られていくことを願うものである。

